



遠賀川河口域の位置図



遠賀川河口域における不法係留船の現状写真

図中の番号（②など）は、次ページの写真の位置



撮影 平成 21 年 5 月

西川における不法係留船状況- 1



写真① 西川・右岸・遠賀川合流点から約 1.0 km付近



写真② 西川・左岸・遠賀川合流点から約 1.4 km付近

西川における不法係留船状況- 2



写真③ 西川・右岸・遠賀川合流点から約 2.1 km付近



写真④ 西川・右岸・遠賀川合流点から約 5.3 km付近

西川における係留の特徴

- ・ 遠賀川合流付近（西祇園橋）から約 2.4 km上流まで、両岸にほぼ船舶が係留されている。
- ・ 係留は、護岸に係船柱を設けて設置している。
- ・ 西川の上流では、橋梁の下に単独（1 隻）で係留されているものが多い。

遠賀川における不法係留船状況



写真⑤ 遠賀川・右岸・河口から 0.9 km 付近の砂浜



写真⑥ 遠賀川の一部である水面（芦屋唐戸水門下流）

遠賀川における係留の特徴

- ・ 遠賀川右岸の砂浜には、正常な船舶（利用されている船舶）や廃船などが混在している。
- ・ 遠賀川右岸の砂浜上流および遠賀川水面の一部では、栈橋を設置して係留されている。

県管理区間（江川・戸切川・吉原川）における不法係留船状況



写真⑦ 江川・右岸・遠賀川合流点から約 0.9 km 付近

江川における係留の特徴

- ・江川では、根固ブロックがあるため、栈橋を長くつきだして係留している（遠賀川合流から約 1 km 程度の間に係留）

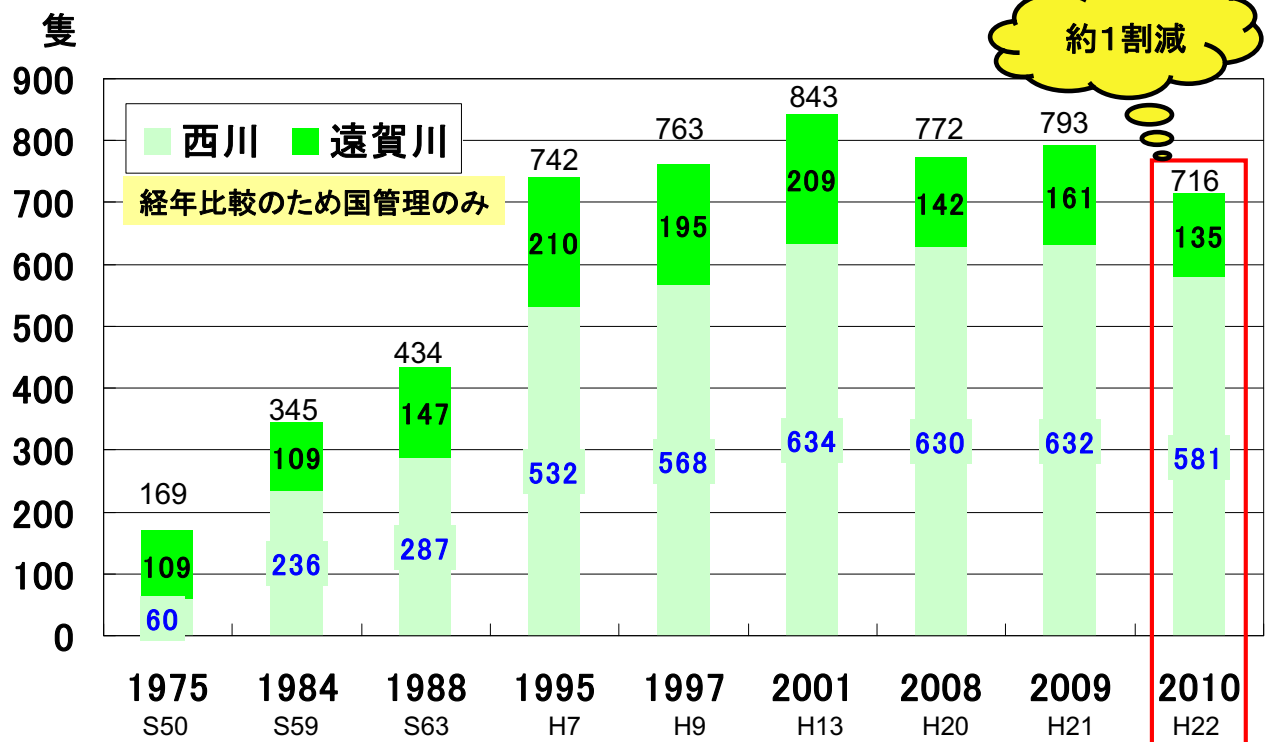


写真⑧ 戸切川・左岸・若松橋下流付近

戸切川・吉原川における係留の特徴

- ・戸切川や吉原川では、プレジャーボートの小型船が係留されている

◇ 遠賀川河口域における不法係留船の船舶数について 遠賀川及び西川における係留船舶数の推移



遠賀川河口域における 不法係留・放置の船舶数

国管理河川		平成21年度確定値 (H22年3月)	H22年9月 速報値
西川	右岸	344隻	308隻
	左岸	288隻	273隻
	計	632隻	581隻
遠賀川		161隻	135隻
合計		793隻	716隻

県管理河川		平成21年度確定値 (H22年3月)	H22年9月 速報値
吉原川		4隻	4隻
戸切川		7隻	7隻
江川		53隻	48隻
合計		64隻	59隻

総数 857隻 775隻

※この1年間で約1割減少



遠賀川河口域における不法係留・放置の内訳 (平成21年度確定値・平成22年3月)

		総数	検査済	その他			
				検査切れ	不明	沈船	廃船
国	西川	632隻	499	77	26	0	30
	遠賀川	161隻	99	12	14	0	36
	計	793隻	598	89	40	0	66
県	吉原川	4隻	1	0	1	0	2
	戸切川	7隻	5	2	0	0	0
	江川	53隻	26	7	14	0	6
	計	64隻	32	9	15	0	8
総計		857隻 (100%)	630隻 (74%)	98隻 (11%)	55隻 (6%)	0隻 (0%)	74隻 (9%)

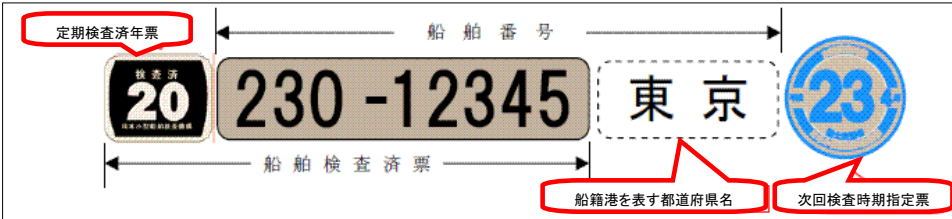
検査済とは、

小型船舶検査機構による定期検査の検査期間が有効な船舶

(航行しても問題がない船)

検査済でないと「小型船舶の登録等に関する法律」違反となる

小型船舶検査機構による検査済票の例



船舶番号とその調査方法



船舶番号(船舶検査済標)



陸上からの目視による確認



検査番号が不明な船舶の例
(カバーがあり番号が確認できない等)



検査番号が不明な船舶の例
(番号が消され確認できない等)



沈船している船舶例

沈船は、
船の一部に水が入っていることを基本に分類



廃船としている船舶例

廃船は、
外見からみて船の一部が破損、またはゴミが散乱している、草が生えている、陸上に放置されているなどを基本に分類

まとめ

遠賀川河口域には、不法係留・放置などの船舶が857隻あり、このうち、200隻(約23%)程度は廃船や検査が切れているなど**利用されていない船舶**と考えられる。

活動していると考えられる船舶数は、約650隻程度になるものと思われる。

※上記の数字は、平成21年度確定値(平成22年3月)を活用している。

◇遠賀川河口域(国管理区間)における不法工作物

単位)基 (平成22年3月)

	係船柱	係船環	棧橋	その他
西川	894	790	0	36 (階段・船台類)
遠賀川	0	0	18	49 (物置・船台類)
計	894	790	18	85



係船柱
船をつなぐための柱 (50cm
80cmが多い)



係船環
環になった金
具で船をつな
ぐもの



不法な棧橋
遠賀川



不法な棧橋
遠賀川



その他（階段）

鉄製やブロック製の階段が
設置されている



その他（物置）

漁具などが収納されている

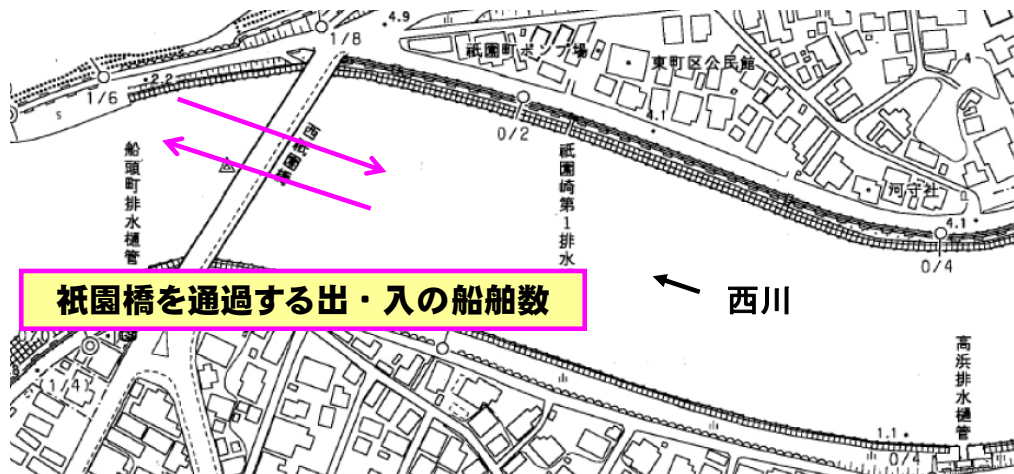
◇西川の利用の実態 ～平成21年10月11日(日)調査結果～

①西川の通航状況

→朝4時から夕6時までの通航状況

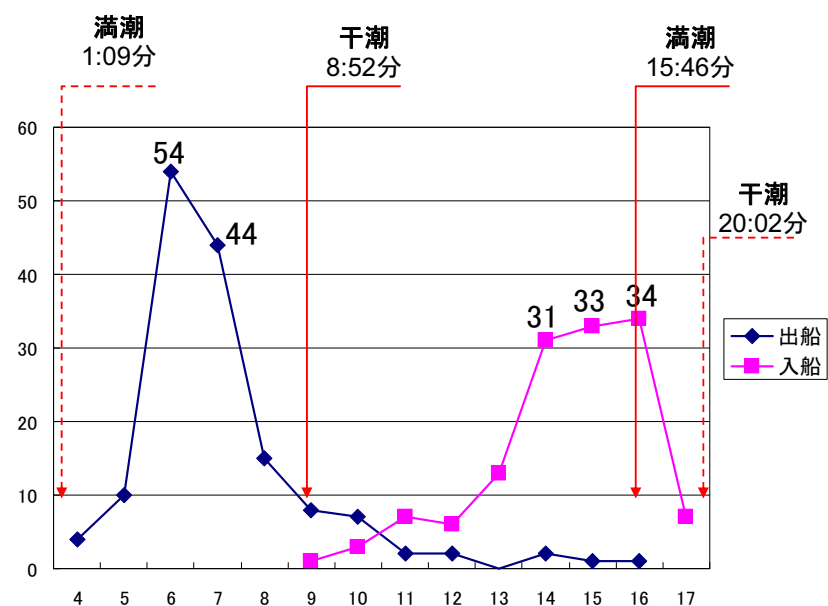
②西川周辺の駐車状況

→2時間ごとの沿川踏査による駐車状況



西川の通航状況(朝4時～夕6時 晴れ 微風)

時間帯	出船 (隻)	入船 (隻)
4時～5時	4	0
5時～6時	10	0
6時～7時	54	0
7時～8時	44	0
8時～9時	15	1
9時～10時	8	1
10時～11時	7	3
11時～12時	2	7
12時～13時	2	6
13時～14時	0	13
14時～15時	2	31
15時～16時	1	33
16時～17時	1	34
17時～18時	0	7
合計	150	136

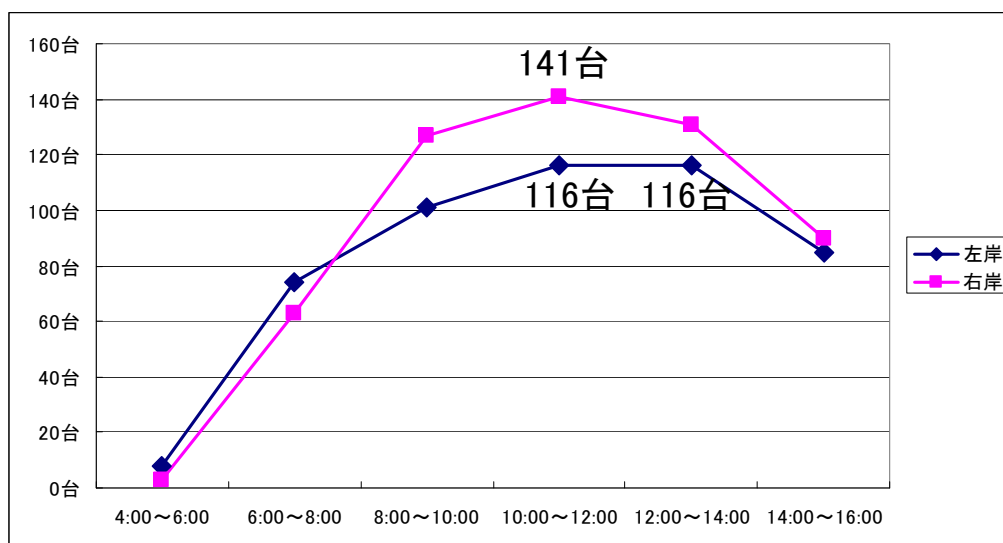


出船は、6時～8時がピーク

入船は、14時～17時がピーク

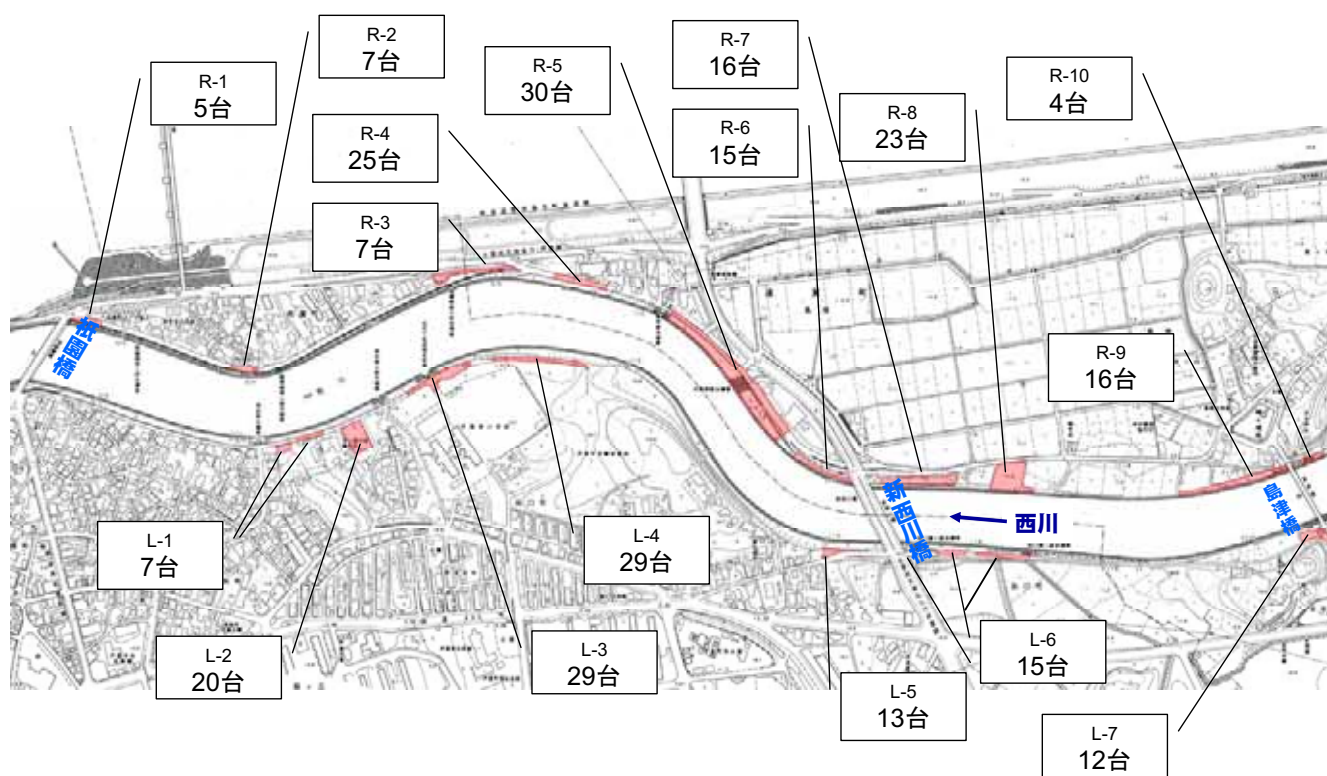
西川周辺の駐車状況

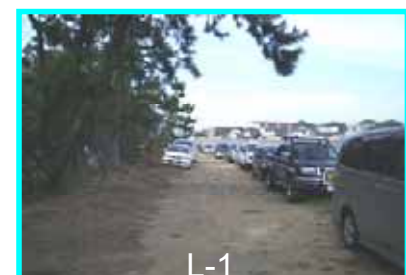
(最大ピーク時 路上駐車など257台)



時間帯	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時
右岸	3台	63台	127台	141台	131台	90台
左岸	8台	74台	101台	116台	116台	85台
合計	11台	137台	228台	257台	247台	175台

駐車状況(最大ピーク時 路上駐車など257台)





代表的な駐車状況

◇ 不法係留船がもたらす問題点

◇ 治水上の主な問題点

- ・流出船舶による河道閉塞の危険性
- ・高水敷放置による出水時流出の危険性
- ・流出した場合の河川管理施設又は許可工作物の損傷
- ・護岸に係留用の杭を固定することによる、護岸等の損傷

◇ 河川環境上の主な問題点

- ・河川区域内への違法駐車、騒音、ゴミ・油の不法投棄
- ・沈没船による油の流出

治水上の問題点

(写真には、現在改善されたものを含む)



河道閉塞の恐れ(西川・道管橋)



高水敷における放置(西川・右岸)



乗り上げによる護岸の損傷(西川・左岸)



係留杭や係留環の設置による護岸の損傷

河川環境上の主な問題点

(写真には、現在改善されたものを含む)



河川区域内の違法駐車



騒音
(平成21年10月調査時の最大騒音72db)



ゴミの不法投棄



沈船による油の流出

平成22年7月12～14日の出水時に おける係留船の状況



増水し、高水敷の放置艇が約300m
下流に流れだした。



増水し、バランスを失い沈船化し
油が流出。